

■ 広島県建築士会会報誌へ広告を掲載しました

11月に予定していた「第63回建築士会全国大会」への出展は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により広島での開催が中止となり、規模を縮小し東京からWEB開催となったため、大会参加を見合わせました。代わりに建築士会会報誌『MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.167』へ広告を掲載いたしました。



■ 第7回役員会

9月10日、第7回役員会をオンラインにて開催いたしました。全役員にご出席いただき、議事次第について協議し、貴重なご意見を頂戴いたしました。役員の皆様、有難うございました。



■ 編集後記

今回フォローアップ研修会と称して確かな設計の再確認をさせていただきました。このコロナ禍においてなかなか対面での研修会や総会等が開催できない状況の中で、レベルアップや情報共有を図れる機会が持てなく、今回やっとこのような研修会を開催することができました。結果、Web併用でしたが、皆さん大変熱心に受講していただき、非常に有意義なものになったと思います。

そこで感じたのは、技術本部が意図したルールや決め事がまだまだ理解されていない現状があるなということでした。そのことは発信側としては今までそういう理解度をあげる取り組みが少なかつたと大いに反省しているところです。

地盤の設計は目に見えにくいことが多く様々な要因が絡み合い非常に難しいのですが、知識と経験（技術力）があれば大きな事故にはならないという確信もあります。我々はこの技術力を上げたいと思っています。実務に携わる加盟店の皆様の技術力向上が結局はその企業の成長や収益に結び付くものであるという確信です。よって敢えてその技術力や実力を削ぐルールや規制は設けません。今後も技術力向上に寄与する取り組みを行っていくつもりです。どうか皆様にはそのことを理解していただき、技術企業集団を目指しましょう。

スクリー・プレス工法協会会長 永井 理之

会員一欄

正会員	株式会社 アイ機	株式会社 e c o・カンパニー	株式会社 柿崎工務所	株式会社 ジオック技研
地建興業 株式会社	千代田機電 株式会社	株式会社 中川商店	有限会社 平居建設	ビルダーズサポート株式会社
株式会社 福田テクノ	富士貴建装 株式会社	株式会社 ライフベース	株式会社 レクティオ	
準会員	株式会社 第一工業	株式会社 日建コンサルティング	株式会社 西尾技建	株式会社 フィールド・エコ
協力会員	株式会社 シロタ	株式会社 ヒヨシ	株式会社 セーフテック	株式会社 北陸精機
賛助会員	一般社団法人 ハウスワランティ	株式会社 GIR	地盤ネット 株式会社	一般社団法人 不動産検査保証機構 レイウス
特別会員	株式会社 コンステックホールディングス	株式会社 グランテック		

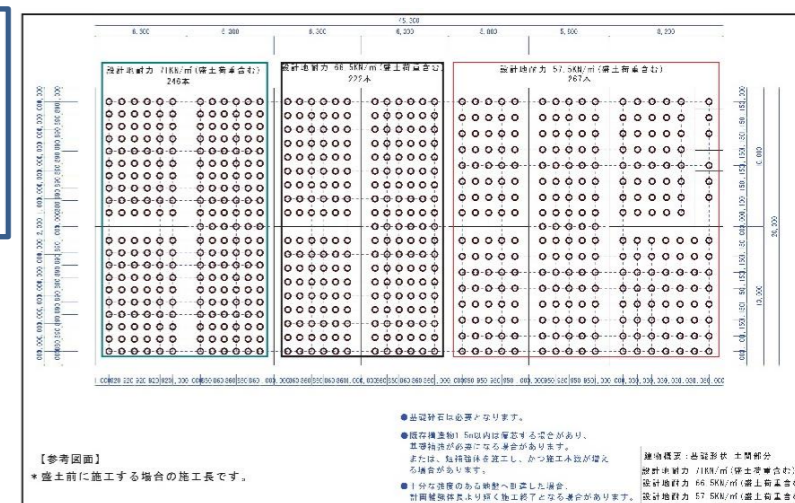
# スクリー・プレス工法 協会だより

Vo.008  
2021.12.発行

発行：スクリー・プレス工法協会事務局  
TEL:(0766)30-2372  
FAX:(0766)30-2566  
Email:spassoc.info@cons-hd.co.jp

事例紹介

工事名：株式会社 N 様山形工場  
(高床式冷凍室における土間下改良)  
構造：鉄骨造1階建て 797㎡  
施工：2021年7月  
設計地耐力：(71kN/m<sup>2</sup>、66.5kN/m<sup>2</sup>、57.5kN/m<sup>2</sup>)  
補強体：φ430 L=2.00m 729本



2021年7月に、山形県天童市で実施した(株)N 様山形工場の土間下改良について、事例ご紹介致します。

現在東北営業所では、工場・倉庫・店舗の土間下改良に有効な手段として、スクリー・プレス工法を構造設計事務所やゼネコン向けに営業展開しております。

本物件の相談を受けた際は、高床式倉庫の土間下改良という事で、基礎工事、地中梁工事が完了した後に、埋め戻し土を含めた軟弱層に対して、土間下の地盤改良ができないかという内容でした。

スクリー・プレス施工機の昇降限界は、18°程度となりますが、地盤面と土間下部分との高低差が2m程度あり、スロープを昇降しての施工は、工期も手間もかかり、現実的でないと考えました。また、軟弱地盤面がG L -1.0m~-2.0m程度までと、比較的浅い範囲であることも事前調査で分かっており、杭工事、基礎工事前の地盤改良工事を実施する事を提案いたしました。

提案にあたり、土間荷重に加えて、埋め戻し土の重量が加わる事も考慮し、敷地内の高低差から、埋め戻し土の高さを計算し、3段階での設計地耐力で検討しました。

現状地盤に十分な地耐力を持たせ、その後の埋め戻しを良質土で入念に転圧しながら敷き均して頂く事により、設計通りの土間下地盤を作ることができました。建築全体の工程としても、杭の納品までの期間内に地盤改良を実施することができ、その後の工程を止めることなく進められたため、全体の工期短縮にも繋がる事例となりました。

今回の工事を通じて、高床式倉庫物件に対するひとつのアプローチ方法が確立できました。材料費、検討方法、施工スピードの面で、軟弱地盤において、面積が広くなればなるほど、スクリー・プレス工法の優位性が発揮できると思いますので、今後も更なる営業展開を続けていきたいと思っております。

(株)グランテック 東北営業所  
所長 富山 徹

■ フォローアップ研修会開催

11月19日、スクリー・プレス工法氷見事業本部において、フォローアップ研修会を行いました。  
『確かな設計の再確認事項』と題し、主に設計に関わる方を対象に研修を行いました。  
オンラインを併用し、来場の方も含め40名を超える方々にご参加いただきました。研修の最後には意見交換も行うことができ、大変有意義な研修となりました。



スクリー・プレス工法研修会を終えて

(株)グランテック 技術開発室  
東 知樹

先日は代理店の多くの皆様にご参加いただきましてありがとうございました。  
主に研修では安全な設計、施工を目指す為にどのような事に気を付け、考えていけばいいかということについてお話させていただきました。配置のみならず、設計においても個々の思いによって内容は異なります。その時に一番大事なのは、自分がそう設計した理由をしっかりと持つことです。そうすることで、異なる意見の方を説得することもできます。研修会の後から、このように設計したけれどもどう思いますか、というような問い合わせが増えてきました。それで問題がないと思う時もあれば、ここが問題ではないかと思う時もあります。そのような意見の相談を繰り返すことで、よりよい設計を目指していけます。土中がどうなっているのかを完璧に窺い知ることはできません。講義させていただく中で、私も日々勉強しなければいけないと思いを新たにしました。



参加者の声

改めて確認できた事があり、とても勉強になりました。  
今後は、今回の研修内容を再度確認し、気を引き締めて設計業務に取り掛かりたいと思います。

(W様)

参加者の声

今回の研修の中で、地盤調査の分析を元に地盤の解析と判定の難しさと慎重な判断を行う重要性を改めて感じる事が出来ました。建物・地盤を支える日々の仕事に携わる上で、大切な研修会であったと思います。

(F様)



お忙しい中、ご参加いただいた皆様有難うございました。  
今後の皆様の更なるご活躍とご健勝を心より祈願しております。

土木建設業界のジャンルを超えた事業展開こそ、ジオック技研の強みです。  
主たる3事業を確立し、まさに縁の下の力持ちとして、  
お客様の安全と安心を支えています。



■ 地盤関連事業

- ・地盤調査、解析、設計
- ・地盤改良工事（セメント系）
  - ◇柱状改良工法 ◇ウルトラコラム工法 ◇表層改良工法
  - ◇ピュアパイル工法 ◇くし兵衛工法 ◇しん兵衛工法
- ・地盤改良工事（杭系）
  - ◇鋼管杭 ◇DM工法 ◇SMD杭工法 ◇刃工法
  - ◇環境パイル（S）工法 ◇スクリー・プレス工法



■ 土木関連事業

- ・改良体連続壁工事
- ・擁壁補強工事
- ・さく井工事



■ 防災・環境エネルギー事業

- ・防災 ◇エコホテル ◇防災井戸
- ・環境エネルギー
  - ◇太陽光発電設備 ◇地中熱利用関連設備
  - ◇ヒートポンプシステム ◇凍ラン土（ヒートパイプ融雪）

株式会社ジオック技研



本 社 新潟県新潟市江南区亀田大月三丁目3番21号  
北関東支店 群馬県高崎市元島名町136-2  
群馬営業所 群馬県高崎市元島名町136-2  
栃木営業所 栃木県宇都宮市新里町15-1

TEL:025-383-5757  
TEL:027-350-7123  
TEL:027-350-7123  
TEL:028-666-1337